

■ 新たな住生活基本計画(全国計画)と長野県住生活基本計画(素案)の対応関係

新たな住生活基本計画(全国計画)と対応する長野県住生活基本計画(素案)の施策

① 「社会環境の変化」の視点

目標1 「新たな日常」やDXの進展等に対応した新しい住まいの実現		
(1) 居住の場の多様化及び居住の場の柔軟化の推進		
○職住一体・近接、在宅学習の環境整備、非接触型の環境整備の推進	目標2	2-2
○空き家等の既存住宅活用し、地方、郊外、複数地域での居住を推進	目標2	2-1、3
○既存住宅市場の整備。子育て世帯等が安心して居住できる賃貸住宅市場の整備	目標2	2-2、3
(2) 住宅の契約・取引プロセスのDX、住宅の生産・管理プロセスのDXの推進		
○住宅に関する情報収集から物件説明、契約・取引プロセスのDXの推進	目標5	5-3
○住宅の設計から建築、維持・管理に至る全段階におけるDXの推進	目標5	5-3
目標2 安全な住宅・住宅地の形成と被災者の住まいの確保		
(1) 安全な住宅・住宅地の形成		
○ハザードマップの整備・周知等による水災害リスク情報の空白地帯の解消	目標1	1-4
○関係部局の連携を強化し、地域防災計画、立地適正化計画等を踏まえ、 ・豪雨災害等の危険性の高いエリアでの住宅立地を抑制 ・安全な立地に誘導するとともに、既存住宅の移転を誘導	目標1	1-4
○住宅の耐風性等の向上、住宅・市街地の耐震性の向上	目標1	1-4
○災害時にも居住継続が可能な住宅・住宅地のレジリエンス機能の向上	目標1	1-4
(2) 災害発生時における被災者の住まいの早急な確保		
○今ある既存住宅ストックの活用を重視して応急的な住まいを速やかに確保	目標4	4-3
○建設型応急住宅を迅速に設置	目標4	4-3

② 「居住者・コミュニティ」の視点 (1/2)

目標3 子どもを産み育てやすい住まいの実現		
(1) 子どもを産み育てやすく良質な住宅の確保		
○若年世帯・子育て世帯の都心居住ニーズもかなえる住宅取得の推進	目標2	2-2
	目標4	4-1
○共働き・子育て世帯等に配慮した(利便性・規模等)総合的な住宅取得推進、住替えの推進	目標2	2-2
○良質で長期に使用できる民間賃貸住宅ストックの形成と賃貸住宅市場の整備	目標2	2-4
○防音性や省エネルギー性能、各施設等へのアクセスに優れた賃貸住宅の整備	目標2	2-4
(2) 子育てしやすい居住環境の実現とまちづくり		
○子育て支援施設や公園、コワーキングスペース等、職住や職育が近接する環境の整備	目標2	2-2
	目標4	4-1
○コンパクトシティの推進、良好な住環境や街なみ景観の形成等	目標3	3-3
目標4 高齢者等が健康で安心して暮らせるコミュニティの形成		
(1) 高齢者、障害者等が健康で安心して暮らせる住まいの確保		
○高齢期に備えた適切な住まい選びの総合的な相談体制の推進	目標3	3-1
○バリアフリー性能やヒートショック対策等の良好な温熱環境を備えた住宅	目標1	1-3
	目標3	3-1
○高齢者の健康管理や遠隔地からの見守り	目標3	3-1
○サービス付き高齢者向け住宅等の地方公共団体の適切な関与、整備・情報開示	目標3	3-1
(2) 支え合いで多世代が共生する持続可能で豊かなコミュニティの形成とまちづくり		
○医療福祉・高齢者支援施設、孤独・孤立対策、地域で高齢者が暮らしやすい環境整備	目標3	3-1
	目標3	3-2
○三世同居や近居、身体・生活状況に応じた円滑な住替え等を推進	目標2	2-2
多様な世代がつながり交流する、ミクストコミュニティの形成	目標3	3-2
目標5 セーフティネット機能の整備		
(1) 住宅確保要配慮者(低額所得者、高齢者、障害者、外国人等)の住まいの確保		
○公営住宅の計画的な建替え、バリアフリー化、長寿命化等	目標4	4-1
○セーフティネット登録住宅の活用を推進。ニーズに応じた家賃低廉化の推進	目標4	4-1
○UR賃貸住宅でのニーズに応じた賃貸住宅の提供、ストック再生	目標4	4-1

長野県住生活基本計画(素案)

目標1 脱炭素社会に向け環境や健康にやさしく安全な住まいづくり	
1-1	脱炭素の住まいづくり
1-2	地産地消の住まいづくり
1-3	健康長寿の住まいづくり
1-4	自然災害に備えた住生活の強靱化
目標2 多様な変化やニーズに応じた住まいの選択	
2-1	移住・二地域居住等の推進
2-2	ライフステージに応じた住まいの選択
2-3	住まいの適切な維持管理と空き家の活用
2-4	既存住宅の流通・リフォーム市場の拡大
目標3 ひらかれ、つながり、ささえあう暮らしの実現	
3-1	高齢者が健康で安心して生活できる暮らしの実現《長野県高齢者居住安定確保計画》
3-2	多様な世代が支えあう暮らしの実現
3-3	信州の魅力を継承する暮らしの実現
目標4 誰もが安心して暮らせる住まいの提供	
4-1	地域的・社会的ニーズに応じた公営住宅の運営
4-2	住宅確保要配慮者のための住宅セーフティネットの充実《長野県賃貸住宅供給促進計画》
4-3	非常時における住まいの応急・復旧体制の強化
目標5 地域経済を支える住生活関連産業の発展	
5-1	脱炭素の住まいづくりを担う地域住宅産業の基盤強化
5-2	住生活産業の多角化・成長
5-3	先端技術を活かした住産業・経済循環の促進

目標5 セーフティネット機能の整備(つづき)		
(2) 福祉政策と一体となった住宅確保要配慮者の入居・生活支援		
○住宅・福祉部局の一体的・ワンストップ対応による生活相談・支援体制の確保	目標4	4-2
○居住支援協議会、孤独・孤立対策、入居時のマッチング・相談、緊急対応等の実施	目標4	4-2
○残置物を処理できるよう契約条項の普及啓発、多言語の入居手続に関する資料の周知	目標4	4-2

③「住宅ストック・産業」の視点

目標6 住宅循環システムの構築と良質な住宅ストックの形成		
(1) ライフスタイルに合わせた柔軟な住替えを可能とする既存住宅流通の活性化		
○既存住宅の情報提示の仕組みの改善、購入物件の安心感を高める	目標2	2-4
○性能確保、履歴が整備された既存住宅を重視し、既存住宅取得を推進	目標2	2-4
○既存住宅の瑕疵保険の充実や紛争処理体制の拡充等	目標2	2-4
(2) 長寿命化に向けた適切な維持管理・修繕、老朽化マンションの再生の円滑化		
○住宅の計画的な点検・修繕及び履歴情報の保存を推進	目標2	2-4
○耐震性・省エネルギー性能・バリアフリー性能等を向上、良好な温熱環境	目標2	2-4
○マンション管理の適正化や長寿命化、再生の円滑化を推進	目標2	2-4
(3) 世代をこえて既存住宅として取引されうるストックの形成		
○2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、	目標1	1-1
・ライフサイクルCO2排出量が少ない長期優良住宅ストックやZEHストックを拡充		
・ライフサイクルでCO2排出量をマイナスにするLCCM住宅の評価と普及を推進		
・住宅省エネルギー基準の義務づけや性能表示に関する規制		
○住宅・自動車におけるエネルギーの共有・融通を図るV2H	目標1	1-1
○炭素貯蔵効果の高い木造住宅等の普及	目標1	1-1、2
○省エネルギー性能向上に係る取組状況の情報集約、分かりやすく公表する仕組みの構築	目標1	1-1
	目標2	2-4

目標7 空き家の管理・除却・利活用		
(1) 空き家の適切な管理の促進とともに、周辺の居住環境に悪影響を及ぼす空き家の除却		
○適切な管理の促進、管理不全空き家の除却等や特定空家等に係る対策	目標2	2-3
○空き家の発生抑制や空き家の荒廃化の未然防止、除却等を推進	目標2	2-3
○所有者不明空家について、財産管理制度の活用	目標2	2-3
(2) 立地・管理状況の良好な空き家の多様な利活用の推進		
○空き家・空き地バンクを活用、空き家の改修・DIY等、多様な二地域・多地域居住を推進	目標2	2-1
○地方創生やコンパクトシティ施策等と一体となった除却、敷地整序、 空き家・空き地の一体的な活用・売却	目標3	3-3
○空き家対策を行う民間団体等の取組を支援	目標2	2-3

目標8 住生活産業の発展		
(1) 地域経済を支える裾野の広い住生活産業の担い手の確保・育成		
○大工技能者等の担い手の確保・育成、地域材の利用や伝統的な建築技術の継承	目標1	1-2
	目標5	5-1
○省力化施工、DX等を通じた生産性向上の推進	目標5	5-3
○C新たな部材を活用した工法等や中高層住宅等の新たな分野における木造技術の普及	目標5	5-2
(2) 生産性向上や海外展開の環境整備を通じた住生活産業の更なる成長		
○AIによる設計支援やロボットを活用した施工の省力化等、生産性や安全性の向上	目標5	5-3
○センサーやドローン等を活用した住宅の遠隔化検査等、生産性・安全性の向上	目標5	5-3
○住生活産業が海外展開しやすい環境の整備	目標5	5-3

目標1 脱炭素社会に向け環境や健康にやさしく安全な住まいづくり	
1-1	脱炭素の住まいづくり
1-2	地産地消の住まいづくり
1-3	健康長寿の住まいづくり
1-4	自然災害に備えた住生活の強靱化
目標2 多様な変化やニーズに応じた住まいの選択	
2-1	移住・二地域居住等の推進
2-2	ライフステージに応じた住まいの選択
2-3	住まいの適切な維持管理と空き家の活用
2-4	既存住宅の流通・リフォーム市場の拡大
目標3 ひらかれ、つながり、ささえあう暮らしの実現	
3-1	高齢者が健康で安心して生活できる暮らしの実現《長野県高齢者居住安定確保計画》
3-2	多様な世代が支えあう暮らしの実現
3-3	信州の魅力を継承する暮らしの実現
目標4 誰もが安心して暮らせる住まいの提供	
4-1	地域的・社会的ニーズに応じた公営住宅の運営
4-2	住宅確保要配慮者のための住宅セーフティネットの充実《長野県賃貸住宅供給促進計画》
4-3	非常時における住まいの応急・復旧体制の強化
目標5 地域経済を支える住生活関連産業の発展	
5-1	脱炭素の住まいづくりを担う地域住宅産業の基盤強化
5-2	住生活産業の多角化・成長
5-3	先端技術を活かした住産業・経済循環の促進

長野県独自の視点	
目標3	ひらかれ、つながり、ささえあう暮らしの実現
3-3	信州の魅力を継承する暮らしや住まい方の実現